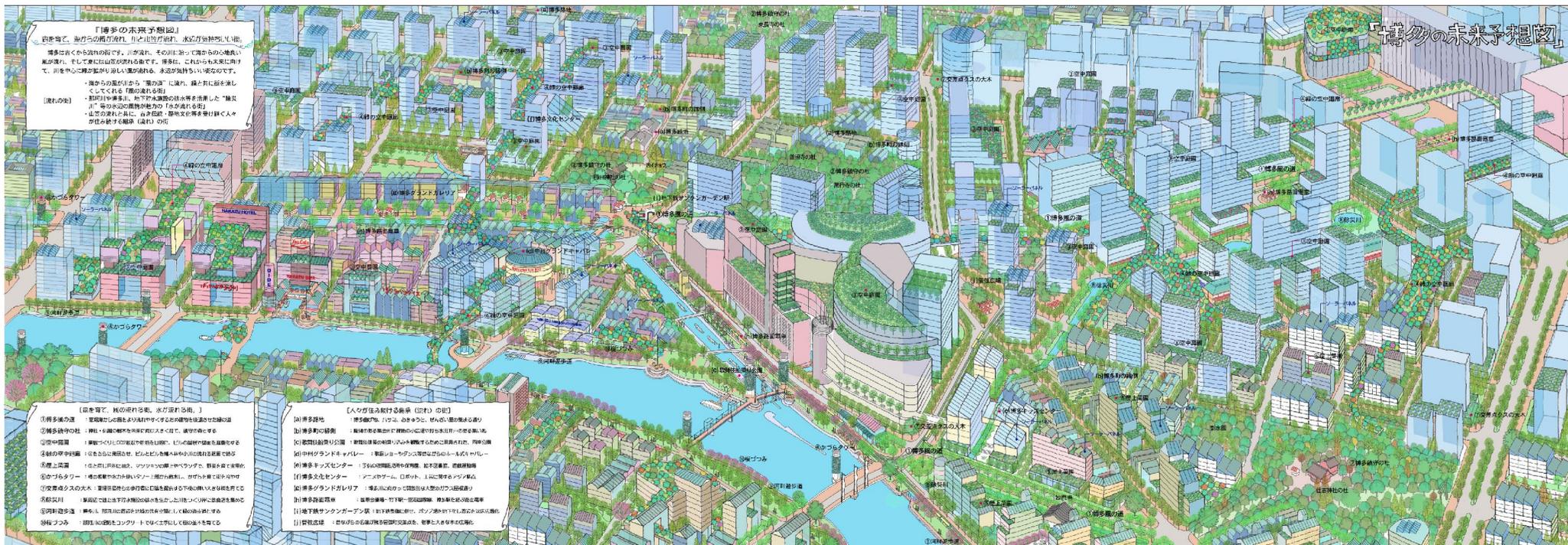


# イメージ部門 最優秀作品

うきは市 石井さま



## 「博多風の道」

以前、福岡市の都心部は、博多湾にそそぐ川沿いに海からの風が流れ、街を冷やしているとの調査報告が新聞で紹介されていたことを覚えています。

そこで、博多の未来に向けても、この海からの風が気持ちよく、水と緑が繋がらあう“風の道”がある街を描いてみました。

博多は、古来から海からの交流の歴史と共に街が発展してきました。祭も盛んで、どんたくや山笠があり、川沿いに流れる海からの風を感じ季節ごとの催事として海や川との関わりの中で育んできました。そして、山笠では流と呼び太閤の町割を駆け巡ります。つまり、風が流れ、川が流れ、山笠が流れる“流れ”の街なのです。

そして、ここに描く風の道は、海に繋がる川辺や、中心となる大通りが、涼しい風が街を冷やすように流れるよう、水辺や、通りのビルを後退させ開放的にし、緑で覆い、神社・仏閣の杜と繋がります。このようにして、水辺がそして通りが、そして人の繋がりが気持ちいい“博多風の道”をつくるのです。

